

科目名	現代建築論	英語科目名	Modern Architecture
開講年度・学期	平成22年度・後期	対象学科・専攻・学年	建築学科 5年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2 単位	単位種類	学修単位(15+30)h
担当教員	豊川斎赫	居室(もしくは所属)	建築学科棟 2F
電話		E-mail	
授業の達成目標			
1. 現代建築のムーブメントを説明することができる 2. 現代建築の発生過程について近代建築を参照しつつ説明することができる。 3. 現代建築を取り巻く社会的背景などを説明することができる。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1. 達成目標1について、レポートの作成、発表により評価する。 2. 達成目標2について、授業中の質疑応答により評価する。			
評価方法			
評価は下記2項目の平均によって行う。 1. 出席(30%)、2. レポート(70%)			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目	自学自習時間	
1. イントロダクション 現代建築を取り巻く背景の概説、未来派、幾何学	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
2. 1900年～1950年代までの建築(1) raum plan、表現主義、ダダ	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
3. 1900年～1950年代までの建築(2) De Stil、有機的建築、エストベリ	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
4. 1900年～1950年代までの建築(3) 構成主義、bauen、bauhaus	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
5. 1900年～1950年代までの建築(4) art deco、平行配置、五原則	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
6. 1900年～1950年代までの建築(5) CIAM、Fasism、Mies	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
7. 1900年～1950年代までの建築(6) International Style、代用品、伝統	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
8. 1950年～1960年代までの建築(1) modulore、Team X、Brutalism	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
9. 1950年～1960年代までの建築(2) 構造主義、metabolism、New York Five	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
10. 1950年～1960年代までの建築(3) ルイス・カーン	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
11. 1950年～1960年代までの建築(4) 丹下健三	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
12. 現代建築の潮流の理解(1) 内藤廣「風景論」の読解	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
13. 現代建築の潮流の理解(2) 岸和郎「風景論批判」の読解	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
14. 現代建築の潮流の理解(3) 塚本由晴「風景論批判」の読解	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
15. 予備日	教科書の熟読、レポートの作成準備	4H	
	自学自習時間合計	60	
キーワード	モダニズム、戦争、総力戦		
教科書	矢代真己・田所辰之助著『マトリクスで読む 20 世紀の空間デザイン』彰国社 2003		
参考書	--		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	⑥		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(A-1) 科学や工学の基本原理や法則を身につける。 (E-1) 外国の文化や価値観を知って国際性を身につける			
JABEE 基準1の(1)との関係	JABEE 基準1の(1)との関係		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	前年度までの関連科目		
現学年の関連科目	現学年の関連科目		
次年度以降の関連科目	次年度以降の関連科目		
連絡事項			
建築のデザインやその社会背景に興味の無い者は受講を控えて下さい。			
シラバス作成年月日	2010.3.31		